

クオーツ ディスクオルゴール 掛時計

取 扱 説 明 書

お買い上げいただきありがとうございます。

- お使いになる前に、この説明書をよくお読みください。
- お読みになった後も、必ず保管して必要に応じてご覧ください。

もくじ

| | ページ |
|---|-----|
| 1. 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください…………… | 1 |
| 2. 電池のご注意（電池の正しい使いかた）…………… | 2 |
| 3. 電池・時計の廃棄…………… | 2 |
| 4. 時計の使いかた…………… | 3、4 |
| ●電池の入れかた ●時刻の合わせかた ●オルゴールディスクのセット | |
| ●ディスクの寿命について ●ディスクご使用上の注意 | |
| 5. 電池の交換について…………… | 5 |
| 6. お手入れについて…………… | 5 |
| ●ディスクのお手入れ ●時計本体のお手入れ | |
| 7. 時計の掛けかた…………… | 6 |
| おもな製品仕様…………… | 裏表紙 |
| アフターサービスについて…………… | 裏表紙 |
| お問い合わせ先…………… | 裏表紙 |

製 造
発売元

リズム時計工業株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12

<http://www.rhythm.co.jp>

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。


本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますので、ご了承ください。

1. 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください


ここに示した事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

- 図記号の説明
- ⊘ 禁止（してはいけないこと）を示しています。
 - ❗ 指示する行為を必ず守ることを示しています。


警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。


 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る


- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。


 電池から液漏れが起きてしまったときは、素手でさわらない


- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
- アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。


注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびの発生や故障の原因になります。

 分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

 めれた手でさわらない
さびの発生や故障の原因になります。

 下記のような場所では使わない

精度の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器などの風が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

2. 電池のご注意（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス（+）、マイナス（-）を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手が届かない所に置く。

電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
- 買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

3. 電池・時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 電池と時計を分別して廃棄してください。

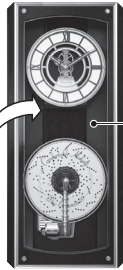
4. 時計の使いかた

図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。

1 5

扉の開閉

扉はマグネットで止めています。



金属の部分に、指紋などが残ると、さびの原因になります。手袋の着用をお勧めいたします。

明暗センサーのはたらき

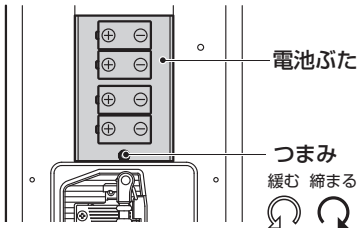
暗くなると報時を停止します。昼間や照明しているときでも明るさが不足すると報時を停止します。

振れ止め（底部）

扉を開閉するときに、傾かないように壁面に木ねじで固定してください。 **7. 時計の掛けかた** 参照

2 【電池の入れかた】

単2形アルカリ乾電池 4個

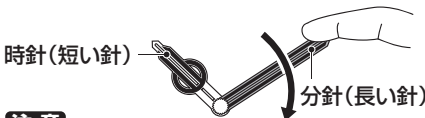


電池を入れるときは、ディスクを取り外してください。

- ①つまみを左に回して電池ぶたを取り外す
- ②電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる
※電池は必ず4個入れてください。
- ③つまみを右に回して電池ぶたを取り付ける

3 【時刻の合わせかた】

分針をゆっくり回して、時刻を合わせます。

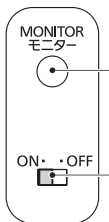


注意

時針には触れないでください。
故障や時間違いの原因になります。

6 【報時スイッチとモニター】

正面から見て右側面にあります。



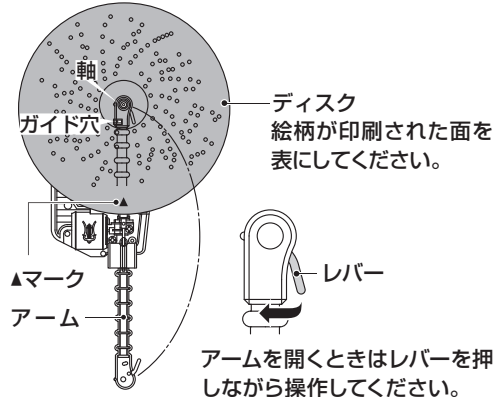
モニターボタン（試聴）

ディスクがセットされているときに押すと1曲奏です。途中で止めることはできませんので、演奏が終わるまで待ってください。

報時スイッチ

- O N: 毎正時に鳴る
- OFF: 停止

4 【オルゴールディスクのセット】



同一機能商品の例



外観は異なりますが、操作手順は同じです。

左の写真は象嵌仕様の商品です。

① 扉を開ける

② 電池ぶたを取り外して電池を入れる……………【電池の入れかた】参照

※電池の⊕⊖を逆に入れると、電池からの液漏れ・発熱・破裂の原因になります。

③ 分針を回して時刻を合わせる……………【時刻の合わせかた】参照

④ ディスクをセットする……………【オルゴールディスクのセット】参照

⑤ 扉を閉める

⑥ 報時スイッチを設定する

ON：毎正時にオルゴールが鳴ります。

OFF：報時しません。

※報時スイッチが「ON」のときでも、暗くなると報時を停止します。

※ディスクを正しくセットしてからご使用ください。

⑦ 時計を掛ける

7. 時計の掛けかた (P.6) に従い、落下しないように確実に掛けてください。

オルゴールディスクのセット

①オルゴール機構のレバーを押しながら、アームを持ち上げて外します。

②好きな曲のディスクを選びます。

③ディスクの▲マークを下にして、オルゴールの軸に差し込みます。

④アームをオルゴールの軸に差し込みます。

アームがロックされるとカチッと音がします。音がしないときには、レバーを押しながらアームを持ち上げて外し、ディスクを入れ直してください。

※ディスクはアームをロックすると多少湾曲します。

※ディスクを取り外すときに、ディスクが落下することがありますので、必ずディスクを押さえながら、アームを持ち上げてください。

ディスクの寿命について

- 特定のディスクだけをご使用になりますと、通常のご使用状態で約1100日で寿命となります。
- 寿命が近づくと音ぶれなどが発生しますので、定期的にディスクの交換をお勧めします。
- 使用したディスクは、油が付着しているため、付属の布できれいにふき取ってから、収納してください。

ディスクご使用上の注意

- 演奏中に、ディスクが停止したり、回転ムラが発生した場合は、ディスクの文字が印刷されていない面を付属のふき布できれいにふき取ってからご使用ください。
- 音量や回転速度を調節することは、できません。

5. 電池の交換について



電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、すぐに新しい電池を交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。

※電池は報時を使用しないと長持ちしますが、長期間使用すると液漏れが発生しやすくなりますので、定期的に交換してください。

※電池の残量が少なくなると、オルゴールの回転速度が遅くなります。



推奨される電池

- ①電池に「月一年」で表示されている「使用推奨期限」が電池交換時より4年以上先のもの
- ② 同一メーカー、同一種類、同一「使用推奨期限」のもの
- ③ 未使用のアルカリ乾電池

「使用推奨期限」は、JIS規格に定められた性能を保証できる保管期限のことです。使用推奨期限を過ぎた電池も使うことはできますが、本来の性能を発揮することができません。電池は未使用であっても時間とともに徐々に性能が落ちます。

6. お手入れについて

■ディスクのお手入れ

- ディスクのお手入れについては、洗剤、溶剤などは使用しないでください。必ず、付属のふき布をご使用ください。

■時計本体のお手入れ

- 木材など天然素材のものは、経年変化により色合いが変化することがあります。
- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や壁面が汚れることがあります。定期的に汚れを落としてください。

7. 時計の掛けかた

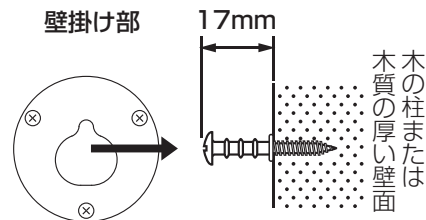
⚠ 注意

時計が落下すると、けがや破損の原因になりますので、次のことをお守りください。

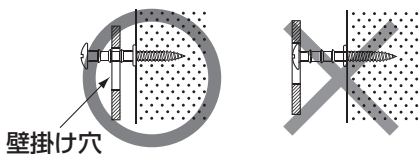
- 時計を掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。
- 時計を垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に掛けてください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



良い例 引っかかっている 悪い例 引っかかっていない



⚠ 注意

時計を掛けるときなど時計を斜めにする、扉が開くことがあります。時計を傾けるときは、扉を手で押さえてください。

その他の壁面の場合

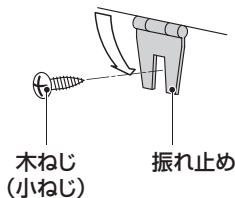
石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛けるときには、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

振れ止めを固定してください

扉を開閉するときに、時計が傾くのを防ぐため、時計を垂直に掛けて、時計底面の振れ止めを下図のように木ねじ（小ねじ）で固定してください。



振れ止めを下げて、木ねじで壁面に固定する



振れ止めは底部にあります

おもな製品仕様

| | |
|--------|--|
| 使用温度範囲 | -10 ~ 50℃ *結露しないこと |
| 時間精度 | 平均月差 ±30 秒 (温度が 5 ~ 35℃ のとき) |
| 使用電池寿命 | 単2形アルカリ乾電池 JIS 規格 LR14 4 個 約1年 1日に17回報時したとき |
| 報時機能 | ディスクオルゴール 毎正時に1曲奏でる |
| 報時精度 | 表示時刻に対して ±1 分 |
| 報時切替 | ON/OFF 切り替え |
| 試聴機能 | あり |
| 暗所鳴り止め | 明暗センサーと連動して暗くなると報時停止 |

■製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品

| | | | | | |
|------|----------|---------|----|---------|----|
| ふき布 | 1枚 | 木ねじ (大) | 1個 | 木ねじ (小) | 1個 |
| 電池 | 4個 | 取扱説明書 | 本書 | 保証書 | 1枚 |
| ディスク | 4MH859RH | 6枚組1セット | | | |
| | 4MH867RH | 7枚組1セット | | | |

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上ご利用ください。ご不明な点は弊社お客様相談室にお問い合わせください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品(電子回路・歯車等)は製造打ち切り後、7年間で基準に保有しています。ただし、外装部品(ケース・文字板等)の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理内容や送料により、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

お問い合わせ先

お客様相談室 0120-557-005

(フリーダイヤル)

受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してある製品番号(型番)をお伝えください。

例 4MH○○○